

小林弘樹総監を表敬訪問



3月17日、中部方面総監を務めた小林弘樹陸将 長の菊池哲也が表敬訪問

3月17日、中部方面総監に新井信彦会長と事務局の菊池哲也が表敬訪問しました。

小林総監表敬訪問

9月の能登の豪雨では多くの自衛官を派遣し、住民の方々の大きな力になりました。今後は陸上総隊司令官に就任し、東京で勤務します。益々のご活躍を祈念しております。(菊池哲也)

春の集い

海上自衛隊舞鶴地方総監部



新井信彦会長(中央)を囲んで

北海道出身の伊藤総監もすっかり舞鶴に馴染んだとのこと、舞鶴地方隊の結束がさらに強くなっ



右から新井信彦会長、伊藤秀人舞鶴地方総監、竹本三保顧問

4月4日金曜日に海上自衛隊舞鶴地方総監部で「春の集い」が開催され、元自衛官や船舶メーカーの方、家族会の方など約750人でした。

が体育館に参集しました。海軍カレで有名な海自だけあり、カレのコーナーには長蛇の列ができていました。当会の総会での講話が今から楽しみです。

井上凌輔君が防衛大学を卒業

井上剛会員の子息、井上凌輔君が防衛大学校人文社会科学専攻公共政策学科を卒業しました。これからの活躍を祈念してあります。本人より決意の言葉をいただきました。



井上剛会員(左)と井上凌輔君

中部方面隊音楽まつり 心~受け継ぐ想い

集がっていました。オープニングの曲が流れ、国歌「君が代」の斉唱で始まり、音楽隊は各駐屯地毎に編成され、演奏曲目に懐かしい昭和歌謡曲がプログラムされていました。一方、太鼓の演奏では勇猛で迫力に満ちたパフォーマンスに陶酔しました。

今年も中部方面隊音楽まつりの時期がやって来しました。1月25日会場は兵庫県立芸術文化センターです。演奏のテーマは、「心を受け継ぐ想い」です。この大ホールに集まった聴衆、今までの日を今かと待ち



広報ポスター

潜水艦見学

はるさめ・はくりゅう

3月30日、会員21人が阪神基地隊海上自衛隊護衛艦「はるさめ」と「はくりゅう」を見学しました。

りゅうに乗艦できる機会をいただきました。普段当たり前の生活と、その中で生活していることが当たり前ではなく、ここにいる自衛隊の方々の、とても大きな力と装備を駆使して支えられていることに触れた、貴重な一日でした。(高村明美)



はくりゅうの前で

潜水艦らいげい乗組員壮行会



緊張気味の乗組員

2月14日、JR神戸駅前にあるクリスタルタワーにおいて、潜水艦らいげいの乗組員の壮行会が開催されました。

早川大士艦長をはじめとする乗組員の皆さんは、緊張の面持ちでしたが、全体から日本の海を守るという使命感があらわに出ていることを感じました。光が入らない狭い空間の中で任務にあたる乗組員の皆さんに感謝と敬意をお伝えし、皆さんの更なる活躍を祈りました。

戦艦大和追悼式

大和神社

戦艦大和が沈没した日から80年がたった4月7日(日曜日)、戦艦大和が祀られている奈良県天理市の天理神社において追悼式が開催されました。当会の山田勇会員が毎年開催しています。

詩吟、舞踊、歌曲、笛の演奏なども披露され、格調高い式典でした。50人を超える人が参列し、



戦艦大和の石碑



50人以上が参列

榎原神宮 紀元祭 「國の支え」を来場者に配布



会員9人で参加

建国記念の日である2月11日は、神武天皇が祀られている榎原神宮において盛大な紀元祭が開催されます。毎年当会から数人が参加し、機関紙「國の支え」を来場者に配布しています。寒いなかでしたが、多くの方が日本の建国に思いを馳せて参加していることに深く感じしました。

今年も皇紀2685年。2700年には日本中が盛大にお祝いできる環境を整えていきたいと感じた次第です。(菊池哲也)



第108回
令和7年
3月8日

歴史勉強会

中島サロン

第107回
令和6年
12月14日



今年の10月に「日本の皇室典範に女性が即位を継ぐことができない」と書いてあるが、それは女性差別ではないのか」という内容です。この日日本をめぐり、各国の持ち時間10分ですが、日本からは約30団体が登録していたため、日本は14分分配されることになりました。日本の団体の内約20団体は左派で、左派の団体が14分中12分スピーチしてしまいました。そのような理由で持ち時間は35秒しかありませんでした。全体のスピーチ終了後、委員の方から「日本の大臣に女性が2人しかいないのはなぜか」「男女共同参画の担当者が男性大

トランプ氏は「自分が大統領になればウクライナ戦争は24時間以内に終わらせる」と言っていました。ところが記者会見で「まだ戦争が終わっていません」と毎日語られています。米国にはポーランド系やウクライナ系の人々がたくさんいて、彼らはウクライナ兵です。彼らからはウクライナが不利になるような停戦交渉はやりません。とほしいという要求があり、また米国のウクライナについては正しいのですが、記者会見の場で言うべきではありませんでした。戦争を終わらせるの

尖閣・台湾有事と日本の国家戦略
麗澤大学客員教授 江崎道朗氏
多くの下級軍人の家族はフードバンクに頼っている。最近LGBTQの理念を世界に広め、価値観を押し付けられたと感じている国々もあり、自国のことだけ考えてはいけいではないかという考え方

臣なのはなぜか」等の質問がありました。スピーチの前日に日本関係者だけが集まる打合せの前に、皆さんに資料を配布してアピールをしました。「日本にもスペインにも王室のある国には同じことを言っています。これは推奨から、聞く聞かないは自由なんです」と言われました。国連はもっと威信的に勧告を出すかと思っていただけに意外でした。また、キューバの委員は「天皇は宗教的側面があることを承知している。ただ、ここで扱うべきだと考える」と言

2013年、安倍総理は「2013年、安倍総理は「2013年、安倍総理は」

2013年、安倍総理は「2013年、安倍総理は」

万世一系の皇統を守る意義

ジャーナリスト・防人と歩む会長 葛城奈海氏

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

「万世一系の皇統を守る意義」

練習艦隊入港・出航

3月19日早朝、阪神基地に練習艦隊がはじめて、しまかぜ・てるびき・うみぎりの4艦を日丸・旭日旗をなびかせ入港しました。

横断幕を張り多数の方々とお迎えしました。



練習艦隊出迎え



花束、激励品(当会は茜丸本舗のどろ焼きの贈呈が行われ、寒いながらも清々しい朝となりました。)

海上自衛隊練習艦隊歓迎の諸行事

3月19日から22日までの期間に、海上自衛隊幹部候補生学校を卒業、幹部に任官し航海実習に立つ実習幹部の壮途を祝うための歓迎の諸行事が開催され、当会からも多数参加しました。

護衛艦てるびき・うみぎり、掃海母艦うらが、練習艦しまかぜの4艦が阪神基地に入港し、出迎えました。

その夜の歓迎の夕べは、シェラトンホテル大阪において開催され、卒業生約200人が一堂に会し、それぞれのデビューで卒業生達を激励しました。

翌日の艦上レセプションは、前日に行

われた歓迎の夕べ出席者への返礼としてご招待を賜り、参加しました。

開始時の神戸の海には、穏やかな西風が渡っていました。天候にも恵まれ、うらが・うみぎりの艦上で心温まるおもてなしを受け、楽しいひと時を過ごすことができました。

3月22日は晴天のなか、阪神基地より出港する4艦へ航海の安全を祈念し、大きく手を振って見送りました。

一連の歓迎諸行事が無事に終わりました。たことをここに報告します。

(若山陽子)

募集・援護について学ぶ

1月11日、自衛隊大阪地方協力本部より小林郁扶渉外広報室長を当会事務所に招き、募集・援護(若年定年制他)に関する講義いただきました。居住空間や福利厚生等改善され、働きやすくなっていることを改めて認識しました。周りの若者達に自衛隊の魅力を伝えてまいります。



自衛隊員の働く環境を知る

最後の大阪大空襲とカーチス・ルメイ

関西防衛を支える会 副会長 原田光生



①最後の大阪大空襲

第二次世界大戦中における日本本土への米軍の大規模な空襲は、1944年11月頃からマリアナ諸島サイパン島の陥落と共に米戦略爆撃機B29を主とする爆撃が激化し、終戦までに原爆投下を含めて民間人の死者は自治体調査で約387,000人とされている。私達が住むこの大阪への空襲は50回あったと言われているが、爆撃機等100機以上による大規模な空襲は1945年3月13日を皮切りに8月14日の最後の空襲を入れて8回にわたり、約15,000人の市民が亡くなった。特に終戦前日の8月14日の大空襲は、午後1時頃

②終戦間際になぜこのようなことが

終戦間際の8月14日の昼間から終戦の8月15日の未明にかけて空襲を受けたのは大阪だけではない。日本全国ではおよそ1,000機のB29が大阪市京橋、秋田県大館市、埼玉県熊谷市、山口県岩国・光市、群馬県伊勢崎市などに大規模な爆撃を行い、小規模を含めると全国30カ所で大規模な爆撃が行われた。多くの人が亡くなっている。日本がポツダム宣言を受諾する旨を連合国側に通告したのは8月10日のことであるが、日本側への国体護持に対する返事がなく連合国側の出方を見ていた。その後も軍内部の意見がまとまらず、8月14日深夜11時の御前会議での昭和天皇の御聖断によりようやく最終決定され、8月15日の天皇陛下による全国民への御聖断放送(玉音放送)をもって終戦としていたものの、連合国側は日本が未だに正式受諾をしていないとみなして警告と止めの大空襲であった。サイパンが陥落し、硫黄島・沖縄が落ち、長崎に原爆が落ち、広島・長崎に原爆が落ち、この地区一帯では木造家屋が大火災を起して下町の大部分を焼きつくし、消防活動を麻痺させ罹災家屋約27万戸、罹災者約100万人、死者は約10万人と言われている。その後も東京に対する空襲は続いたが、「ルメイ」はこの3月10日の東京大空襲について「近代航空機戦史上画期的なことであり、その後の自衛隊の勝利の日とされている。

爆撃の惨状



慰霊碑

③カーチス・ルメイ

カーチス・ルメイはアメリカ陸軍航空軍の少将(後、空軍大将)で、1944年

北部地区 海上自衛隊 舞鶴教育隊入隊式

桜の花が満開の4月7日、海上自衛隊舞鶴教育隊入隊式が行われ、出席しました。

第23期候補生 121人(女性18人)、第33期候補生108人の合計229人です。

着校から1人も欠けることなく、全員が入隊式の日を迎えたと、細田直人教育隊司令から説明がありました。

(時岡利行)



舞鶴教育隊入隊式

立て看板

ている。敗一等等ともなると天皇陛下が直に親授するのであるが、さすがに昭和天皇はこれを避け、航空幕僚長が手渡ししたと言った。彼は「立場が逆であれば私は戦犯となっていたら」と言っている。国内では今もこの敗戦の返還を求める運動が起きている。戦争とはむごいもので、いかなる戦争、紛争も「終戦あるいは停戦間隙」に国家のエゴがある。最近の例でいうと朝鮮戦争での38度線沿いの高地戦、現在のウクライナでの「ロシア領クルク州」での攻防戦では停戦に向けて「ミミ」でも優位な立場に立つため激戦となっていた。その後、彼はその功等により空軍大将となり、戦後佐藤栄作内閣の時に、航空自衛隊の創設に貢献があったとして、日本政府から「勲一等旭日大綬章」を贈られた。



ルメイ空軍大将

江崎道朗氏の講演を聞いて、日本の置かれている状況がいかに危ないかが再認識できた。台湾有事はあるかないかの段階を過ぎ、いつあるかという話を聞きながら、ウクライナに思いを馳せた。

ロシアに攻められる前、ウクライナは平和ボケの空気に包まれていた。今の日本と同じように。

(小野元裕)

